

- 問1 日明貿易を開始した足利義満は、明の皇帝から「日本国王」という称号を授かり、臣下の礼をとる形で貿易を行いました。この貿易において、明に持参する側の証明札（勘合）に記されていた、義満の立場を示す言葉の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 福岡県公立入試 類似）
1. 征夷大將軍
 2. 太政大臣
 3. 日本国王
 4. 執権
- 問2 鎌倉時代から室町時代にかけて、農業技術の向上や肥料の普及により、同じ田畑を利用して一年に二種類の異なる作物を栽培する手法が全国へ広がりました。夏に米を作り、その収穫が終わった後の冬に麦などを栽培する、この農業方式の名称を次の中から選びなさい。（2023年 長野県公立入試 類似）
1. 輪作
 2. 二毛作
 3. 二期作
 4. 転作
- 問3 15世紀に成立した琉球王国の形成過程とその後の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 中山の王であった尚巴志が各地の勢力を統合して建国し、首里を王都として中継貿易を推進した
 2. 元の襲来に対抗するため、沖縄島の有力者が九州の御家人と協力して北部に強固な城郭を築いた
 3. 江戸幕府の鎖国政策に従い、中国との交流を完全に断ち切って薩摩藩の直轄地として統治された
 4. 豊臣秀吉による全国統一の一環として実施された検地により、沖縄全土の石高が確定し首里に奉行所が置かれた
- 問4 慈照寺（銀閣）が建立された時期の日本の状況と、その場所が位置する現在の都道府県の組み合わせとして正しいものはどれですか。なお、時期については、足利尊氏が幕府を開いた1336年から、織田信長が將軍を追放した1573年までの間を基準とします。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. 安土桃山時代・大阪府
 2. 室町時代・京都府
 3. 鎌倉時代・神奈川県
 4. 江戸時代・東京都
- 問5 室町時代、3代將軍の足利義満が明（中国）との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊である「倭寇」と、幕府が公認した正式な貿易船を識別するために用いられた道具の名称を答えなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）
1. 奉書
 2. 引換状
 3. 勘合
 4. 朱印状
- 問6 鎌倉時代から室町時代にかけて、荘園や公領に配置されて土地の管理や年貢の徴収を行った役職の説明として、正しいものを選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 国司と呼ばれ、朝廷から派遣されて治安維持と裁判を担当しました。
 2. 管領と呼ばれ、將軍の命令を受けて全国の武士を直接指揮しました。
 3. 地頭と呼ばれ、現地で年貢の取り立てや土地の管理を行い、武士による支配を強めました。
 4. 老中と呼ばれ、政務を統轄しながら將軍の警護を行いました。
- 問7 室町幕府が明と行った正式な貿易において、日本からの船が入港する窓口として定められた中国の港都市を次の中から選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 広州
 2. 香港
 3. 重慶
 4. 寧波
- 問8 室町幕府の第3代將軍であり、約60年にわたって続いた朝廷の分裂状態を解消する「南北朝の合一」を成し遂げた人物は誰ですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 足利義政
 2. 足利尊氏
 3. 足利義昭
 4. 足利義満
- 問9 室町時代の農村で行われた自治組織「惣村」の仕組みや活動について、正しい説明はどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
1. 幕府が農民を5軒一組のグループに編成し、年貢の納入や犯罪の防止について連帯責任を負わせることで村を支配した。
 2. 各地の守護大名が農村に役人を派遣して、農民が勝手に会議を開くことを禁止し、大名の法律のみで村のすべてを管理した。
 3. 商工業者が特権を得るために結成した組織で、幕府に税を納める代わりに、商品の独占的な販売権を認められていた。
 4. 村の有力者や農民たちが「寄り合い」を開き、自ら定めた「村の掟」に従って、用水の管理や防犯などの村独自のルールを運用した。
- 問10 室町時代、3代將軍の足利義満が京都の北山に金閣を建立した時期の文化について、その特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 伝統的な公家の文化と新興の武士の文化が融合している。
 2. 浮世絵や歌舞伎など、都市の町人が文化の主な担い手となっている。
 3. 大名や大商人の富を背景とした、壮大で豪華な桃山文化の先駆けとなった。
 4. 禅宗の影響を強く受け、わび・さびを重んじる質素で気品のある内容である。
- 問11 室町時代に起きた土一揆の際、借金が帳消しになったことを当時の農民たちが石に刻んで残した碑文（徳政碑文）が現代に伝わっています。このような碑文が作られた社会的な背景として、正しい説明はどれですか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
1. 幕府が農民の生活を保護するために、定期的にすべての借金を免除する法律を石碑に刻ませた。
 2. 酒屋や土倉などの高利貸しが、農民からこれ以上襲撃されないように自ら借金の破棄を宣言した。
 3. 農民たちが惣という組織を通じて強い団結力を持ち、自らの要求を実行行使で通す力を持っていた。
 4. 馬借などの運送業者が、農民の代わりに借金を返済したことを記念して各地に建立した。
- 問12 14世紀の中世日本において、現在の青森県に位置する日本海側の港を拠点とし、アイヌの人々との交易品を畿内へもたらすなど、北東北と中央を結ぶ遠隔地取引で栄えた豪族の活動拠点として正しいものはどれですか。（2021年 愛知県公立入試 類似）
1. 博多
 2. 十三湊
 3. 坊津
 4. 堺
- 問13 15世紀初め、沖縄本島に並立していた北山・中山・南山の三つの勢力を統一して琉球王国を建国した人物と、この国が東アジアの国々を結びつけて行った貿易の名称の組み合わせとして正しいものはどれか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 足利義満 ― 勘合貿易
 2. 尚巴志 ― 中継貿易
 3. 尚巴志 ― 南蛮貿易
 4. 足利義満 ― 中継貿易
- 問14 16世紀の明（中国）において、北方のモンゴル族による侵入と、南方の沿岸部で活動した倭寇による被害が並行して発生し、国家を苦しめた情勢を指す言葉は何ですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
1. 下剋上
 2. 鎖国令
 3. 北虜南倭
 4. 文禄・慶長の役

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本国王	日明貿易は、中国の皇帝が周辺諸国の王に地位を与え、その返礼として朝貢（貢ぎ物）を受け取る「朝貢貿易」の形式をとっていました。足利義満は明の皇帝から「日本国王」として冊封（称号を授かること）されたため、勘合には日本の正統な統治者であることを示す「日本国王」という文字が記されていました。これにより、幕府は莫大な貿易利益を得るとともに、その国際的な地位を高めました。
問2	答え 2 二毛作	鎌倉時代に西日本から始まり、室町時代に全国へ普及したこの手法は、灌漑施設の整備や牛馬の利用、草木灰といった肥料の使用によって可能となりました。同じ土地で一年に二回、同じ作物を栽培する「二期作」とは区別されます。この生産力の向上により、余った農産物を売買する定期市も発展しました。
問3	答え 1 中山の王であった尚巴志が各地の勢力を統合して建国し、首里を王都として中継貿易を推進した	琉球王国は、中山の尚巴志が北山と南山を統一したことで成立しました。統一後は首里城を政治・文化の中心とし、日本、中国、朝鮮、そして東南アジアの品々を売買する中継貿易で大きな富を蓄えました。選択肢にある元寇や太閤検地は、琉球王国の統一とは直接的な関係がありません。
問4	答え 2 室町時代・京都府	慈照寺は、室町幕府の第8代将軍である足利義政が京都の東山に築いた山荘が寺となったものです。この時期は室町時代の中期から後期にあたります。義政は応仁の乱という戦乱のさなかにはりながら、この地で東山文化を育みました。
問5	答え 3 勘合	室町幕府の3代将軍・足利義満は、明の要求に応じて海賊（倭寇）を取り締まることを約束し、明との国交を樹立して貿易を開始しました。この際、正式な貿易船であることを証明するために、明から発行された「勘合」と呼ばれる札を半分に割ったものを持参し、現地の札と照らし合わせる仕組みがとられたことから、この貿易は勘合貿易とも呼ばれます。
問6	答え 3 地頭と呼ばれ、現地で年貢の取り立てや土地の管理を行い、武士による支配を強めました。	荘園や公領で土地の管理や年貢の徴収を行った役職は地頭です。鎌倉幕府によって設置されて以降、室町時代にかけても現地での支配力を強化していきました。
問7	答え 4 寧波	室町時代の足利義満によって始められた日明貿易では、明側が日本船の入港地を寧波（ニンポー）の一カ所に限定しました。日本の使節はここで勘合の照合を受けた後、陸路で北京へと向かいました。広州はのちの清の時代に欧州との貿易窓口となった都市であり、混同に注意が必要です。
問8	答え 4 足利義満	足利義満は室町幕府の全盛期を築いた将軍です。1392年に南北朝の合一を実現して国内の動乱を終結させたほか、公家と武家の双方の権限を掌握し、将軍の権威を揺るぎないものにしました。京都の北山に建てられた金閣（鹿苑寺）は、彼の強大な権力と当時の北山文化を象徴する建築物です。
問9	答え 4 村の有力者や農民たちが「寄り合い」を開き、自ら定めた「村の掟」に従って、用水の管理や防犯などの村独自のルールを運用した。	惣村は農民が自発的に作った自治組織であることが最大の特徴です。寄り合いでの決定事項や村の掟に基づき、村内の裁判や水利管理、さらには領主への年貢減免交渉（強訴など）を行うこともありました。他の選択肢は、江戸時代の五人組（連帯責任）、大名による中央集権的な統治、あるいは中世の商工業組織（座）の説明であり、農民の自治を示すものではありません。
問10	答え 1 伝統的な公家の文化と新興の武士の文化が融合している。	室町時代初期の北山文化は、3代将軍足利義満が朝廷の権威と幕府の力をあわせ持っていた社会背景を反映しています。金閣（鹿苑寺舍利殿）に代表されるように、貴族が好んだ寝殿造と、武士や禅宗に好まれた仏殿建築の様式が組み合わされている点が大きな特徴です。なお、「質素で気品がある」のは東山文化、「壮大で豪華」なのは桃山文化、「町人が担い手」なのは江戸時代の文化の特色です。
問11	答え 3 農民たちが惣という組織を通じて強い団結力を持ち、自らの要求を実力行使で通す力を持っていた。	当時の碑文（大和国柳生街道の徳政碑文など）は、土一揆などの結果として借金がなくなったことを農民自身や地域社会が証明するために残されたものです。これは、惣を中心とした農民の連帯が、幕府や高利貸しに対して要求を通すほどの社会的勢力になっていたことを示しています。
問12	答え 2 十三湊	14世紀の北東北では、安藤氏（安東氏）などの豪族が津軽地方の十三湊を拠点に活動しました。ここではアイヌの人々から得たサケやコンブといった北方産品を、日本海交易を通じて近畿地方などの遠隔地へ運ぶ大規模な商業ネットワークが形成されていました。これは中世における日本の領域を超えた多様な交流を示す重要な史実です。
問13	答え 2 尚巴志 ― 中継貿易	琉球王国は1429年に尚巴志によって統一されました。地理的に日本、中国、東南アジアの間に位置していたため、それぞれの地域の特産品を仕入れて他国へ売る「中継（なかつぎ）貿易」によって繁栄しました。選択肢にある南蛮貿易は戦国時代にヨーロッパ諸国と行われた貿易であり、勘合貿易は足利義満が明との間で行った貿易です。
問14	答え 3 北虜南倭	明の時代、北からのモンゴル族（北虜）と南からの倭寇（南倭）という二つの外敵に悩まされた状況を「北虜南倭」と呼びます。この時期の倭寇は「後期倭寇」と呼ばれ、日本人だけでなく中国人も多く含まれていました。明はこれに対抗するため、民間の海上取引を禁じる海禁政策をとりましたが、かえって密貿易や海賊行為を助長させる結果となりました。